

(様式1)

教育研究業績書		
2026年5月1日		
氏名 笠井翔太		
研究分野	学位	
精神看護学	看護学修士	
研究内容のキーワード		
オープンダイアログ、ナラティブ、リフレクティング、対話、地域精神医療		
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 教育方法の実践		
1) 精神看護支援論Ⅰ・Ⅱ	2010年4月～現在	病棟における精神科看護の実際の講義資料の作成、および講義の実施、看護過程におけるペーパーペイシエントの作成、グループワークの指導の実施 科目責任者、科目担当者と分担し、講義・演習の実施
2) 精神看護学実習	2011年10月～現在	精神看護学実習要項の作成。実習記録の作成。オリエンテーションの実施。各実習クール毎に1病院を担当し、実習指導の実施
3) 総合実習（精神看護学）	2012年9月～現在	実習記録の作成、オリエンテーションの実施、実習病院の1病院を担当し、実習指導の実施
4) 基礎看護実習	2010年5月～2020年2月	一病棟を担当し、実習指導の実施
5) 看護援助実習	2011年1月～2020年9月	一病棟を担当し、実習指導の実施
6) 療養支援看護実習	2021年8月～2024年9月	一病棟を担当し、実習指導の実施
6) 看護とホスピタリティⅠ	2013年4月～現在	科目責任者とともに授業内容の検討、授業内のグループワーク指導の実施 一病棟を担当し、臨地学習指導の実施
2. 作成した教科書、教材		
1) 看護学生のための精神看護学（教科書）	2017年10月	第11章 精神科身体合併症医療の執筆を担当（共著）
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		
4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
5. その他		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 資格、免許等		
1) 看護師免許	平成16年4月26日取得	
2) 保健師免許	平成16年4月26日取得	
3) 養護教諭Ⅰ種免許	平成16年3月19日取得	
2. 所属学会		
1) 日本看護学科学会	2011年5月～現在	
2) 日本看護学教育学会	2014年4月～現在	
3) 精神保健看護学会	2011年6月～現在	
4) 日本心理学会	2010年12月～現在	
3) オープンダイアログ・ネットワークジャパン	2019年4月～現在	
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		
1) 埼玉石心会病院 看護研究指導	2014年4月～2015年3月	教員2名で埼玉石心会病院の看護研究指導の実施
2) 埼玉県看護協会第4支部 教育委員	2017年4月～2018年3月	埼玉県看護協会第4支部における看護研究研修会、看護研究発表会の企画・運営協力
3) 埼玉県看護協会第4支部 教育委員長	2018年4月～2019年3月	埼玉県看護協会第4支部における看護研究研修会、看護研究発表会の企画・運営
4) 埼玉県看護協会 南西部支部 看護研究講師	2024年7月6日 2026年2月14日	埼玉県看護協会南西部支部の協会員を対象に、西武文理大学在宅看護学教授と、看護研究に関する講義・演習を行った。

4 その他 1) 埼玉県対話の勉強会 共同主催		2020年9月～現在		精神科病院勤務の薬剤師とオンライン研修会、「埼玉県対話の勉強会」を発足オープンダイアログ、ナラティブセラピー、リフレクティングなどの手法についての勉強会の運営
2) かわごえダイアログの会 世話人		2026年5月～現在		埼玉県川越市を拠点とする精神科訪問看護ステーションの代表2名と、精神保健医療福祉ユーザーや家族、支援者がともに「対話とは何か」を考え学んでいく場の運営
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 看護学生のための精神看護学	共著	2017年7月	大学教育出版	東中須恵子, 五十嵐愛子, 後藤文人, 鈴木宗雄, 蛭川万里菜, 矢嶋伸哉, 小野坂益成, 寺岡征太郎, 竹内忍, 合田五月, 中川愛子, 岡本響子, 久保正子, 板橋直人, 野村和孝, 篠原百合子, 村木士郎, 本田優子, 田中光子, 下野義弘, 木村幸代, 阿部由香, 仙田志津代, 笠井翔太, 船山健三, 後藤満津子 第11章 精神科身体合併症医療の執筆を担当した。
看護学生のための精神看護学(改訂版)	共著	2020年4月	大学教育出版	
(学術論文) 精神科に異動した他科勤務経験をもつ看護師の異和感-精神科異動後間もない時期に焦点をあてて	共著	2010年1月	日本看護学会論文集：精神看護	笠井翔太, 堀あつ子, 山田亜耶, 石川かおり 精神科に異動した看護師を対象にインタビューを行い、異和感について質的に分析した。文献検討、インタビュー、分析、執筆を担当した
うつ病患者の生活困難感：メランコリー親和型うつ病患者とメランコリー親和型でないうつ病患者の2事例の分析から	共著	2013年3月	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要：健康科学：health science	廣島麻揚, 笠井翔太 メランコリー親和型うつ病患者とメランコリー親和型でないうつ病患者の生活困難感について、インタビューをもとに質的に分析した。分析を担当した。
(学会発表、講演など) The Internal World of the Patient with the New Type of Depression	共著	2010年10月	20th World Congress of World Association for Social Psychiatry	鈴木麻揚, 笠井翔太 新型うつ病と呼ばれる患者の内的世界についてインタビューをもとに質的に分析した。分析を担当した。
MMPI-2内容尺度OBSと他の尺度との関係性 臨床尺度Ptを中心として	共著	2012年8月	日本心理学会大会発表論文集76回	笠井翔太, 美濃由紀子, 牧野貴樹 MMPI-2の内容尺度であるOBSと臨床尺度Ptを中心に、他尺度との関係性を研究者間で検討した。第76回日本心理学会においてポスター発表を行った。
統合失調症患者が他者に自らの体験を語ることの意味-直前、直後、1か月後の当事者支援としての面接を通して-	共著	2014年11月	第34回日本看護科学学会学術集会	笠井翔太, 仙田志津代, 増田道生, 荒川博美, 長島緑, 小寺栄子, 渡會丹和子, 竹之下信子 地域で生活する統合失調症患者が大学の講義で自らの体験を語る意味を、講義直前、直後、講義から1か月が経過した後のインタビューから質的に分析した。第34回日本看護科学学会学術集会にてポスター発表を行った。
精神科病棟に勤務する看護師の職業的アイデンティティに影響する経験 一般科経験の有無に焦点をあてて	共著	2016年11月	第36回日本看護科学学会学術集会	笠井翔太, 仙田志津代, 増田道生 精神科のみの経験精神科看護師、一般科の経験もある精神科看護師にそれぞれ職業的アイデンティティに関するインタビューを行い、職業的アイデンティティに影響する経験について質的に分析した。第36回日本看護科学学会学術集会にてポスター発表を行った。
コロナ禍の生活様式変化がもたらす子育て期にある家族のストーリー-親の語りからの分析-	共著	2022年12月	第42回日本看護科学学会学術集会	笠井翔太, 井上寛隆, 茂手木明美 保育園に通う子をもつ親にインタビューを行い、語りの内容から、コロナ禍の生活様式の変化がもたらす家族のストーリーをナラティブ分析にて明らかにした。第42回日本看護科学学会学術集会にてポスター発表を行った。
地域精神科医療へのオープンダイアログの有効性に関する研究	単著	2023年12月	日本精神障害者リハビリテーション学会 第30回岡山大会	笠井翔太 日本でのオープンダイアログに倣った対話実践を行っている実践者にインタビューを行い、日本におけるオープンダイアログの有効性に関する経験プロセスを明らかにし、オープンダイアログの日本での定着可能性の示唆を得た。日本精神障害者リハビリテーション学会 第30回岡山大会にてポスター発表を行った。
(その他) 1. リレー書評： 広がる対話の力と可能性—『対話をデザインする—伝わりとはどういうことか—』私的文脈の重なりと考察	単著	2020年3月	週刊 ルビュ言語文化教育 (RLCE) 743号	早稲田大学名誉教授 細川英雄氏が主宰する、言語文化教育研究所八ヶ岳アカデミアの発行するwebメールマガジンの「対話をデザインする」リレー書評に、精神科看護の経験、教員経験やオープンダイアログ、リフレクティングなどの精神科領域の対話実践の知見をもとに、書評を寄稿した。